

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	大井町	安全安心にかかわるソフト面について ①自然災害時等避難時の「避難行動要支援者名簿」に伴う自治会等の役割等関連組織の対応方針についての行動指針の確立	<p>「避難行動要支援者名簿」は、高齢者世帯や、単身世帯などで、避難が困難であったり、避難する場合に特に支援を要する人、これらの方を「避難行動要支援者」といいますが、その名簿を今年度も更新をいたしまして、先日自治会さんや民生委員の皆様様に配布をしたところでした。</p> <p>大井町には同意をいただいた83人の方が名簿に載っています。この名簿については、有事の際に、避難する場合の支援、安否確認ということが基本となります。</p> <p>ただし、人それぞれ状況が異なりますし、なかには障がいをお持ちの方もいらっしゃいます。支援すべき内容が個人ごとに異なるので、本人だけでは移動が困難な人とか、もちろん医療的ケアが必要な方の対応もあります。また地域によって危険度という差も有ると思います。その人を誰が、どのように支援して避難するかをあらかじめ定める計画が必要だということで、今現在個別避難計画の作成に向けた取り組みを進めているところです。</p> <p>その個別避難計画の基本的な考え方ですが、まずは自助が前提で自ら情報収集して支援要請を行うことを基本に、さらに地域の共助によって避難支援をしたい、そういう流れを考えております。個別避難計画の作成には、避難支援者(自治会、自主防災会、民生委員さん含む)の皆さんのご理解のもと進める必要があると思っていますので、資料に添付いただいております中部地区の民児協から、こういった関係機関との連携というお願いもいただいておりますが、こういう機会にも市の職員も参画をさせていただいて、しっかりと情報共有を図りながら、個別避難計画の作成等、効果的な対応を進めていきたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p>	健康福祉部長	②実施予定	<p>「避難行動要支援者名簿」については、地域の民生委員児童委員の皆様との協力を得ながら、現在個別避難計画の作成に向けた取り組みを行っているところであり、今年度16件の個別避難計画を作成いたしました。</p> <p>しかしながら計画作成にあたっては、要支援者の状況にに応じ、多くの支援者との協議が必要であり、市としては、支援者の意向確認を進めた上で同意を得た対象者から計画作成を進めていく方針です。</p> <p>市としては今後も支援者である関係機関と連携しながら、計画作成を進めてまいりたいと考えておりますので、自治会の皆様につきましても御理解と御協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、作成しました計画については、対象者の同意を得たうえで、自治会及び民生委員児童委員の皆様等と情報共有を図る中で避難支援に繋げていきたいと考えております。</p>
2	大井町	安全安心にかかわるソフト面について ②入国管理法の改正に伴う外国人労働者受け入れ態勢の構築について	<p>現在、亀岡市の外国人の生活支援は、今のところ国際交流協会という組織がございます。こちらのほうで日本語を母語としない人を対象に、同じ地域で生活する一員として、孤立することのないように年間約40回程度日本語の教室を開催しております。また、国際理解学習といたしまして、亀岡の家庭へのホームステイや日本の日常生活を体験していただく機会ということで、ワールドフェスタ等の文化の共生社会を目指す事業を開催しているところです。</p> <p>現在、日本語教室に登録している方は、約50人です。教える側については今までJICAや、学校の先生のOBの方であったり、ボランティアの方約20名にそういった対応をしていただいております。しかしニーズにすべて応えられているかという点、すべてその50名の方にレクチャーできているという現状ではございません。今後もボランティアの方をさらに増員しながら、体制を整えていきたいと考えております。</p> <p>今後においてもそういった外国人の方が増える可能性は、確実に増えていくだろうと思いますので、その方たちが生活をしやすいように、情報の交流や事業の機会の提供を図っていききたいと思います。</p> <p>また、もう一点、来日外国人の犯罪とか、事故の被害から守るということを目的に、警察を事務局にいたしまして、「亀岡在日外国人安全対策連絡会」というものが形成されています。今後におきましても、警察さんや我々亀岡市、また、外国人を雇用されている事業所と連携強化を図りながら、情報の共有を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>またゴミの出し方など、そういったトラブルは他の自治体でも困っておられると聞いております。そういったことも含めて、この日本語教室では、特にゴミ出しルールを一つのカリキュラムとして教えているわけではありませんが、当然そういったことに対してのレクチャーも必要に応じて対応しております。今後そういったトラブルのないように、体制をしっかりと整えてまいりたいというふうを考えております。</p>	生涯学習部長	③検討	外国人労働者受け入れ態勢の構築ですが、外国人の生活サポート窓口を設置するなど、生活支援体制の構築を検討します。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
3	大井町	安全安心にかかわるソフト面について ②入国管理法の改正に伴う外国人労働者受け入れ態勢の構築について	<p>人口減少社会の進展によりまして、ものづくりを主とする事業所においては、人材不足が深刻しつつあり、景気の回復による受注チャンスを生かさきれないなどの問題が起ころつつあります。</p> <p>産業観光部といたしましては、労働力不足の解消と、雇用の安定化に努めるために、亀岡の商工会議所や大阪出入国在留管理局などと連携し、外国人労働者雇用対策セミナーを開催しております。そうしたことを重ねながら、母国において、語学などのスキルをしっかりと身につけてこられた優良な外国人労働者の受け入れを企業にお願いするとともに、また、お勧めしていきたいと考えております。</p> <p>また、本市では地域経済等における課題を共有し、協働して課題に取り組むために、市内の企業と行政、商工会議所、地元自治会などが意見交換を行う場として、平成29年度から企業座談会を開催しております。そうした機会などを活用し、外国人労働者に一日でも早く地域になじんでもらえるような取り組みを企業に呼び掛けてまいりたいと考えております。</p> <p>また、本市への転入の際に窓口でお渡ししております、「市民生活の手引き」については本年度デジタル化を目指したリニューアルが検討されていると聞いておりますので、そうした機会をとらえて、他言語化などについて担当者と協議してまいりたいというふうに考えております。</p>	産業観光部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
4	大井町	安全安心にかかわるソフト面について ②入国管理法の改正に伴う外国人労働者受け入れ態勢の構築について	<p>外国人の受け入れについては、まず実態を知るのが重要だと思っております。</p> <p>私も去年日本語教室一度参加させていただいて、どういうことをやっているのかとか、どういう問題があるのかというようなことを少しヒアリングさせていただきました。</p> <p>企業の、外国人を受け入れている斡旋している企業の方にもお話を聞いて、どういう仕組みで受け入れて、日本に来る前にどういう研修をしているのか、また来た後にどういう形で身元保証をして、労務管理をしているのか、そういうヒアリングをさせていただきました。実際に施策を実施しようとする、いくつかは施策がまたがってしまっ、『「市民生活の手引き」はこの部で作っております。』や「外国人の受け入れの企業との窓口はこの部にもっております」など、皆さまから見ると、どこにどの問題を相談していいのかわからない、少しタコ壺型の体系になってしまっておりますので、一度私が、情報をいろんなところにまたがっているものを集約して、亀岡市として、外国人をしっかり人材として受け入れて、地域になじんでもらえる体制をどういふ施策のもとにつくっていくのか、体系化できるもよう取り組んでいきたいと思っております。時間はかかるかもしれませんが、企業や住民の方の声を聞くことがまず重要だと思っておりますので、その点引き続きご指導いただければと思っております。</p>	仲山副市長 (産業観光部)	②実施予定	外国人労働者の実態把握のため、外国人を雇用する企業に対する調査を実施し、関係部署にも共有する予定です。
5	大井町	安全安心にかかわるソフト面について ②入国管理法の改正に伴う外国人労働者受け入れ態勢の構築について	<p>亀岡市の外国人労働者について調査をしました。</p> <p>亀岡全体でも300人以上おられ、近い将来一千人になるだろうと見ています。亀岡市としても、外国人の人たちがこの町に住みやすい環境をどう作っていくかということ、また一住民として、しっかり受け入れられるような取り組みをしていかなければいけないと思っております。ゴミ出しなどの生活のルールや災害時の避難の問題もあることから、できれば来年度から新たな窓口を作り、亀岡に来た外国人に、亀岡はよかったと言ってもらえるようにしていくことが重要だと思っております。また現状、市内業者においても外国人を雇いたい、雇わなければ事業存続ができないという状況になってきておりますので、取り組みをしっかりと進めていきたいと思っております。</p>	市長 (企画管理部) (産業観光部)	②実施予定 ③検討	令和2年4月から多文化共生を推進する担当課を設置します。 外国人労働者を雇用する事業者が円滑に事業を行えるよう、事業者に対する支援を検討してまいります。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
6	大井町	安全安心にかかわるソフト面について ③学童通学路の安全対策にかかる強化策等全般について	<p>通学路の安全対策ですが、これまで市の方では亀岡市通学路交通安全対策プログラムを策定し、取り組みを進めてきたところです。</p> <p>市の総務関係、道路関係、教育委員会がまずそれらのプログラムの推進にあっており、道路管理者である国道事務所、南丹土木事務所、それに加えて、亀岡警察署にもそこに加わっていただき、それらの連携の中で、通学路の安全対策の強化に取り組んでいるところでございます。引き続きまして、交通安全対策に取り組んでいきたいというふうに考えております。</p> <p>中でも、府道王子並河線につきましては、幅員が少し狭いところがあって、そこを子どもたちが通っているということも充分承知をしておりますので、学校ともしっかりと連携をとりながら、進めていきたいと思っております。加えて、これまでも電柱等に啓発の看板を設置をしております。「通学路注意」等を掲示をしておりますが、そういったものの更新、新設などにも取り組んで、ドライバーの方にも、その啓発に取り組んでまいりたいと考えております。</p>	教育部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
7	大井町	安全安心にかかわるソフト面について ④野良猫、野良犬対策の指針について	<p>犬、猫につきましては、京都府の「動物の飼養管理と愛護に関する条例に基づいて、南丹保健所、また亀岡市が連携をして、適正飼養の指導をおこなっています。</p> <p>この条例におきましては、猫や犬の所有者の責務や遵守事項等といたしまして、適正な餌やり、飼養する場所の確保、人に迷惑を及ぼさないこと、また、終生にわたり飼養することを努めるようになっております。</p> <p>所有者の判明しない猫についてのお問い合わせは、環境政策課にもございますが、猫の所有者でない人は餌を与えないようお願いをしております。</p> <p>その手段といたしましては、窓口にこられた方に説明をするなり、広報紙お知らせ版に掲載し、啓発を図っているところです。また、所有者の判明しない猫に餌を与えている人がわかった場合、市、保健所に連絡をいただきましたら、現地確認の上、その方への指導も行ってまいります。所有者の判明しない犬につきましては、南丹保健所で捕獲いたしますので、そのような犬を発見された場合は、保健所まで御連絡をお願いしたいと思います。</p>	環境市民部長	①実施	こん談会での回答のとおりです。
8	大井町	【質問事項等】 防災行政無線を市内各所に設置し、災害時に市内全域に情報を伝えるということできないか	<p>市内一円にスピーカーを付けて設置しどこにいても聞こえるようにするという検討も行いましたが、予算上困難な状況です。また実際皆さんの家はかなり密閉度が高く、スピーカーが鳴っていても、なかなか家の中におられる方に聞こえるかという問題があります。スマートフォンなどを活用した伝達がより具体性があるということで、そのようなことも含めて検討しているところです。そのような理由から町内一つ一つにスピーカーを設置するのは難しいと考えています。</p>	総務部長	⑤困難	こん談会での回答のとおりです。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
9	大井町	安全安心ハード・インフラ面について ①亀岡市消防団大井分団4班屯所の移設の検討進捗状況について	消防団員の皆様には、地域における消防防災のリーダーとして、活動いただいていること、また、自治会役員、自主防災会の皆様も一緒になって町を支えていただいております。改めて感謝申し上げます。 亀岡市消防団は19分団37部73班で構成されており、消防ポンプ格納庫及び詰所は、亀岡市内に74施設を設置しています。今お話しいただきました、4班屯所の移設については、従来から要望いただいているところでありまして、土地所有者の返還希望や詰所・格納庫の老朽化が進んでいることも認識しています。大井町南金岐の埋め立て地への移転については、昨年の地域こん談会でも説明させていただきましたが、土地利用の全体計画が定められていない状況であることから、現時点での消防ポンプ格納庫及び詰所を先行して建設することは難しいと考えています。しかしながら、かなり老朽化が進んでいますので、積極的に移設について考えていきます。先ほど、亀岡市内には74施設があると申し上げましたが、その多くにつきましては、地元自治会や区のご協力のおかげで設置をしているところであります。位置、面積、道路状況、周囲の状況等に適合する移転候補地について、地元自治会等のご理解ご協力をいただきながら、検討していきたいと考えています。	総務部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
10	大井町	安全安心ハード・インフラ面について ②金岐地域の防災対策全般について (治山治水について、用水池の管理安全施策について)	治山についてですが、大井町南金岐地内において、平成25年9月の台風18号等により土砂流出が発生し、尾根付近の山腹崩壊が発生しました。京都府内の治山事業において、平成28年度土留め工を設置して土砂移動の抑止と森林への復旧を図っております。また、併せて治山ダムを設置により、下流への土砂流出の防止を図ったところです。近年、地球規模での異常気象等により市内においても山間部を中心に、土砂崩れ等が発生しております。全国で自然災害が多発する中、昨年は市内だけでも62か所の治山事業の要望が出てまいりました。京都府の方でも大幅に予算を増額していただき、現在も対応いただいているところですが、すべてに対応いただくためには、相当な期間と予算が必要となります。また、その間に新たな箇所、より緊急性の高い災害が発生しますと、いつまでも対策できないということにもなります。今後におきましては、こうした災害対応を待つだけではなく、本年度から前倒しで導入準備が進められております「森林経営管理制度」などを上手に活用しながら、今まで手入れが不十分であった森林等を適切に管理することで国土の豊潤化に努めていきたいと考えております。 もう一つ、用水池に係る管理安全施策についてお答えさせていただきます。昨年の豪雨災害などを受け、全国的に防災重点ため池の見直しが行われました。亀岡市においても、46池から116池に見直しを行ったところです。大井町におきましては、小金岐区、南金岐区、北金岐区を合わせて11池があり、防災重点ため池となったのは6池です。従来の4池だったものが、6池に見直しを行いました。当面の対応といたしましては、まずはエリア毎に防災重点ため池におけるハザードマップの作成を行い、地域住民の防災意識の向上に努めて参りたいと考えています。併せまして、ため池の改修や廃池事業を進めて参りたいと考えておりますが、こちらにつきましては、各受益者の判断になりますので、各受益者のご協議の上、着手していくということであれば、市にご相談いただければと思います。	産業観光部長	②実施予定	大井町内の防災重点ため池6池のハザードマップ作成について、自治会やため池管理者とワークショップを開催させていただきました。ハザードマップの配布時期については、年度内を予定しております。 今年度施行の「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」により、ため池に関するその他の公表事項について現在調整中のため連携を図る必要があることから、ハザードマップの配布時期を調整しております。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
11	大井町	安全安心ハード・インフラ面について ③桂川に二川が合流する地域の全面改修の検討進捗状況について	昨年度京都府において、桂川の上流圏域の河川整備計画が策定され、河川についての方向性が明記されたところです。亀岡市域の河川改修は、嵐山地区から下流の国土交通省直轄区間の河川改修事業の上下流のバランスを確保しながら進められてきたところです。そういった中、平成25年の台風18号で亀岡市も被害を受けましたが、嵐山も受けたということで、緊急治水対策が講じられ、重点的に取り組みがされてきました。その取り組みは今年が最終年です。嵐山地区の左岸溢水対策が今年度中に完了する予定となりました。こういった下流の浸食によりまして、今まで以上に亀岡市は上流側から水が流される状況が整ってきたということから、亀岡市域にあります9か所の霞堤を約1m嵩上げできる状況になってきました。当然、犬飼川の合流はその9か所の中の1か所です。つきましては、京都府により、まずは、保津橋下流側の霞堤4か所を嵩上げすることが先日公表されたところであり、それにつきましては、今年度、詳細設計、事業実施、工事実施を取り組むとされています。また、引き続きその他の霞堤も嵩上げされることとなっております。犬飼川の霞堤嵩上げにつきましては、市が管理する願成寺川の合流部の影響を受けることや、国営ほ場整備事業との調整もあり、現在、関係機関との調整を行いながら予備設計を進めていただいています。今後は、先行して着手される下流の4か所の嵩上げ完成後、間髪入れずに実施できるよう、詳細設計等準備頂くと聞いておりますので、亀岡市といたしましても、願成寺川の内水対策など、京都府と足並みそろえて対応してまいります。それと関連して、犬飼川では現在、若宮橋の架け替えに併せまして、河川の改修の取り組みをされております。また、犬飼川の桂川との合流地につきましては、これまでから自治会から強く要望をいただいているところですので、今後も継続して実施いただけると聞いております。	まちづくり推進部長	②実施予定	嵐山の可動式止水壁について、今年度内の完成は難しいと聞いています。嵐山の進捗を見極めながら、保津橋下流側の霞堤4箇所の嵩上げ工事に着手されることとなります。その他は、こん談会での回答のとおりです。
12	大井町	安全安心ハード・インフラ面について ④桂川右岸道路の新設検討状況について	桂川右岸道路整備については、本市の都市計画マスタープランにも位置付けており、国道9号線の渋滞緩和、災害発生時の緊急輸送路、産業振興、地域住民の生活道路、また、観光ネットワーク化による地域活性化に効果があり、地元においても桂川右岸道路整備促進協議会を組織されており、市としても必要性を認識しているところです。しかしながら、相当な事業費が必要となり、桂川と願成寺川の橋梁設置に係る河川占用協議を進めているところです。また、京都府南丹土木事務所におきまして、桂川右岸堤防の調査を実施しているところです。このことにつきましても、桂川右岸道路として、有効に活用させていただく意向も南丹土木事務所に示しております。現在調査を行っている業務についても、道路計画を視野に入れ、京都府でも検討を願っているところです。	まちづくり推進部 事業担当部長	②実施予定	桂川右岸道路については犬飼川と願成寺川を渡河する橋梁について、ほ場整備事業と合わせて実施していくこととして進めており、現在河川協議およびほ場整備事業にて橋梁設計等を進めているところです。今後についてもひきつづき、各関係機関と調整、連携のうえ事業の推進を図ってまいりたいと考えています。
13	大井町	【質問事項等】 ロームの裏、土田の交差点から金岐方面に入るコーナンの角のところですが、コンクリートが山のようになっていて、転倒したことがありますので、確認をお願いしたい。反対側の、ホームセンターの前の家、大きな家が2軒建っていますが、その前の道路もひどい状況です。道だけではなく、溝が詰まっている箇所もあります。そういった箇所を確認していただきたいと思います。	おっしゃっていただいた箇所は早急に対応していきたいと思いますので、よろしくお願いたします。	まちづくり推進部 事業担当部長	③検討	当該箇所につきましては、以前より現場を確認しており、歩道の段差で危険な箇所については、応急的に補修材にて対応してまいります。補修材での対応が難しい広範囲な箇所については、順次修繕対応して行きたいと考えています。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
14	大井町	【質問事項等】 防災無線についてです。防災無線がどこまで活用されているのか、よくわかりません。実際に使用できますか。設備はあるのに、使っていないのはもったいないと感じます。	防災無線について、ご意見を参考にしながら、今後活用していきたいと思います。自治会の固定局として1局、細かい数字はわかりませんが分団に3台ほど配備させていただいております。分団においては、携帯の方が便利ということで、防災無線を活用いただく機会が少ないのかなと感じます。おっしゃられるように、利活用を図りたいと思います。	総務部長	①実施	災害時の各町要員との連絡に活用中です。
15	大井町	【質問事項等】 「麒麟がくる」のPRについてです。最近ラジオを聴いていることが多いのですが、舞鶴のレンガパークや福知山市が相当PRをされています。亀岡のPRも流れるかなと思っていたのですが、ハーフマラソンのPRはされていますが、それ以外の「麒麟がくる」などのPRがまったく流れてきません。もう少しPRをするべきなのでは	さまざまなイベントなどを進めているところですが、インパクトがないのか、効果的にPRができていないのだろうと思います。また現在はドラマ館の方に軸足がありまして、PRが弱くなっているのかと感じます。NHKとやり取りをしていますが、現時点で「麒麟がくる」のPRを大々的にすることは、現在放送中の大河ドラマとの兼ね合いで難しいところもあります。もう間もなく、皆さまの目に触れるPRができる予定となっておりますので、今しばらくお待ちください。	産業観光部長	①実施	12月15日に大河ドラマ「いだてん」の放送が終了したことにより、2020年大河ドラマ「麒麟がくる」の番組広報が解禁されましたので、今後、「麒麟がくる」を大々的に活かしたPRを行っていきます。 また、全国にある光秀ゆかりの地の情報を集約したホームページ「岐阜・滋賀・京都観光ポータルサイト」やスマートフォンアプリLINEで人工知能(AI)の明智光秀が観光案内を行う「明智光秀AI」、その他YouTubeやラッピングバス・タクシーなどを活用して、「光秀公のまち亀岡」を広く、効果的に全国へPRしていきます。
16	大井町	【質問事項等】 南部開発の地域において、たくさん新築の家が建っておりますが、その中で工事業者を語ってモノを搾取したり、不法投棄が発生したり、若者がたむろしたりなど、地域住民から不安な声があがっております。警察での巡回を強化していただいて、少しでも不安を払拭していただきたいと思います。	おっしゃっていただいたことを、警察に伝えさせていただきます。	総務部長	①実施	亀岡警察署が警戒を強化されるとともに、事業実施主体である亀岡市大井町南部土地区画整理組合においても地元の組合員を対象に詐欺事案等に騙されないよう周知啓発をして頂きました。